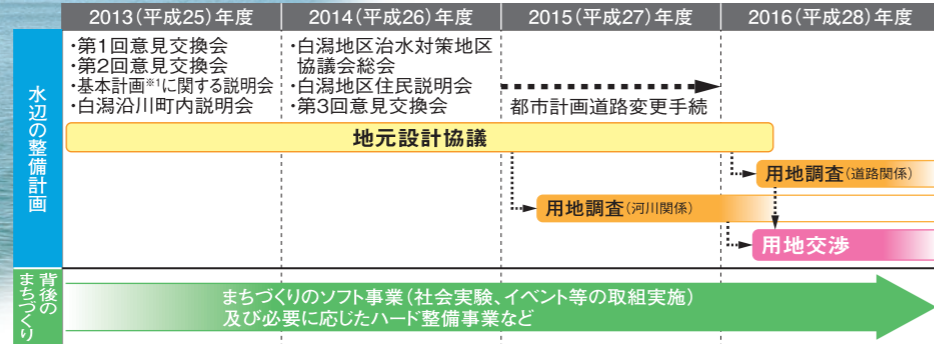


白潟地区においても 対話と検討を進めています!



※1:基本計画とは、「大橋川周辺白潟地区水辺空間とまちづくり基本計画」(松江市策定)のことです。

地元住民をはじめとした市民の皆さまと意見交換を重ねながら進めてきた「水辺を活かしたまちづくり」を具体化し、今後も対話による設計協議を進めます。

平成26年11月に実施した意見交換会での意見も参考にし、各行政機関と協調し、水辺の活用策を模索していきます。また、白潟地区の河川拡幅に影響を受ける地域については、住民の皆さまのご理解とご協力を賜りながら、平成27年度より用地調査に、平成28年度から用地交渉に着手させていただきたいと考えています。

流域 TOPICS

斐伊川水系上流でも昨年10月、尾原ダム(雲南市・奥出雲町)で「尾原ダム・さくらおろち湖まつり」、志津見ダム(飯南町)で「コスモス祭」が開かれ、ダムの提体見学などに多くの方に参加いただきました。

コスモス祭



志津見ダム 堤体見学の様子

さくらおろち湖まつり



尾原ダム 堤体見学の様子

松江市大庭町
吉岡柁哉さん(10代 男性)
怜杜さん(6歳 男性)

「ダムに入ったのは初めて。実際に見ると、すごく大きくて驚いた。治水だけでなく、発電設備もあってすごいと思った。ダムの仕組みもよく分かった」

参加者の声

松江市央道町
藤原一人さん(20代 男性)
「尾原ダムを真下から見るのは初めて。大きさに驚いた。ダムの建設工事中、仕事で来たこともあり、歴史的建造物の工事に関わって、感慨深いものがある」

参加者の声

大橋川コミュニティセンター

[休館日] 土日祝祭日・年末年始 [開館時間] 9:30~16:00 [駐車場] なし
〒690-0887 松江市殿町383番地 山陰中央ビル1階
TEL(0852)28-3621 FAX(0852)28-3623

E-mail : info@comisen.jp

ホームページ : <http://www.comisen.jp/>

大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が共同して管理・運営をしています。

●パネル展示:松江市民活動センター(STICビル1階) 〒690-0061 松江市白潟本町43番地



『まちと水辺を近づけ、水辺と歩行者空間をつなぐ』を コンセプトとした白潟地区の水辺整備イメージを提案しました!

意見交換会の様子



進行役
島根大学
飯野准教授

国土交通省出雲河川事務所は、平成25年3月に開催した前回の意見交換会に引き続き、昨年11月16日(日)に松江市の白潟公民館とくにびきメッセで、「第3回水辺の魅力を活かしたまちづくり」意見交換会において、大橋川改修に伴う白潟地区の水辺整備イメージを提案させていただきました。

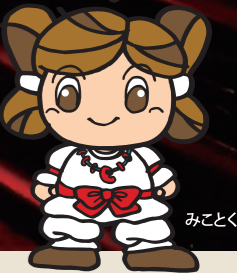
今回は、島根大学の飯野公央准教授を進行役に迎え、白潟地区(魚町~御手船場町)の水辺整備コンセプトや国内の水辺空間整備事例を紹介しました。また、前回までの整備イメージに対する市民の皆さまの意見を参考とした、大橋川上流部南岸の水辺の具体的な整備イメージ案を提案しました。

そして、前回までの意見交換を踏まえて修正した水辺空間の模型やイメージ図面を囲んで、参加者の皆さまから白潟地区の水辺整備に対する思いをお聞きし、行政側との対話を進めました。

今後は、今回いただいたご意見も参考に、さらに詳細な水辺空間の設計を行っていく予定です。



第3回「水辺の魅力を活かしたまちづくり」意見交換会を行いました



みことくん

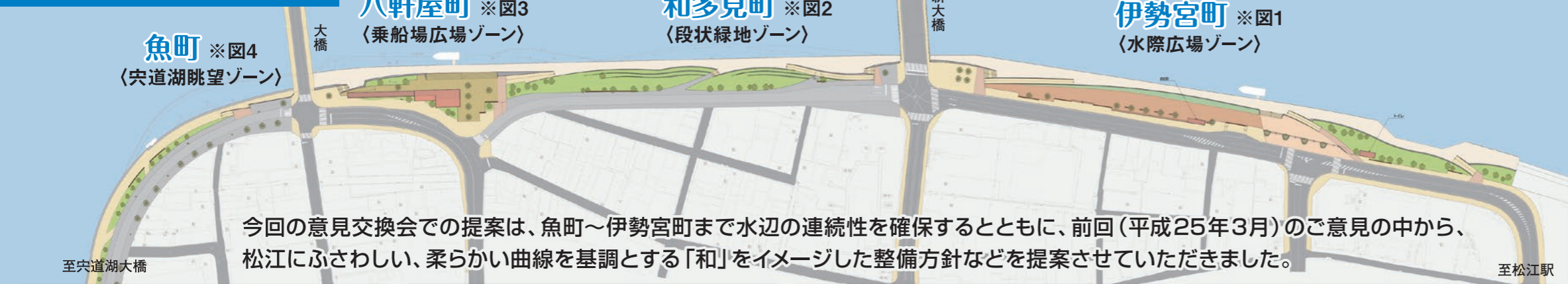
大橋川通信

大橋川改修情報紙

白潟地区水辺整備イメージの提案内容



白潟地区の水辺整備イメージ



今回の意見交換会での提案は、魚町～伊勢宮町まで水辺の連続性を確保するとともに、前回（平成25年3月）のご意見の中から、松江にふさわしい、柔らかな曲線を基調とする「和」をイメージした整備方針などを提案させていただきました。



意見交換会当日は、両会場ともにイメージ模型・図面を確認しながら、参加者の皆さまから自由な意見をお聞かせいただくことができました。

図4 魚町

大橋川

【主な提案内容】
・歩車共存道路
・親水階段

図3 八軒屋町

大橋川

【主な提案内容】
・水辺の拠点施設
・乗船場

図2 和多見町

大橋川

【主な提案内容】
・歩車共存道路
・レガッタ観覧席にもなる段状緑地

図1 伊勢宮町

大橋川

【主な提案内容】
・乗船場
・スロープ整備による水辺への連続性
・イベントなどに利用可能な水際広場

意見交換会参加者の声 参加者の方々からいただいた主なご意見



松江市乃木福富町 **高橋和枝さん** (50代 女性)

- ・観光客が水辺に親しめる、水都松江が前面に出るような水辺の活用策にしてほしい。
- ・水辺に広場を設けて、飲食できたり、催し物が開けたり、人が集まる場所にしてほしい。
- ・パワースポットを新しく作るなど、水辺を楽しく歩く仕掛けが欲しい。

松江市幸町 **花田裕司さん** (50代 男性)

- ・計画には好印象を抱いている。いろいろな意見を取りまとめて進めてほしい。
- ・立ちながらボートを漕ぐスタンドアップパドルボードを愛好している。宍道湖、大橋川で漕ぐと気持ちいい。水辺の多い松江なら水路をつたってあちこちに行ける。計画と合わせ愛好者を増やしたい。



整備イメージそのものに対する意見

白潟公民館での意見

- 松江は周辺に緑が多いため、緑が多いと思われがちだが、市街地には意外と少ない。
- 松江市民のための水辺になって欲しい。
- 県立美術館から白潟公園を通じて、同じような構想でつながっていくと良い。
- 漁業に影響しない範囲で水の都をアピールできるものがあると良い。(噴水など)
- 水辺で遊べた時代を知っているから、水辺に降りられるようにして欲しい。
- ルアーで釣れるスペースをつくってあげてほしい。

くにびきメッセでの意見

- 休憩室をもう少し駅に近い方にも設けてほしい。
- 飲んだり騒いだりする姿、家から漏れる光が水辺から見えるのも面白いと思う。
- 10月の水燈路社会実験が非常に良かったので、明かりを絡めた設計も検討してほしい。
- 松江市民だけでなく、観光客の動線も考慮した設計してほしい。
- 安全面を考慮する必要があるが、水辺に降りて水に触れられる空間があるとよい。
- 今のまのスタイルを残して、その上でどうしていけばいいか考えてほしい。
- 何も触らないでほしい。
- 変わらないことも必要だけど、変わっていくことも必要。
- 橋の下を通れるようにしてほしい。
- 大橋川の北と南で相互の交流が生まれるようなデザインがあってもよいと思う。

整備後の水辺の活用に関する意見

白潟公民館での意見

- 水上レストランができれば面白そう。
- あまり細かいことを言っているとせっかくの水辺が使えない。きちんとルールをつくって、罰則なども決めた上で、水辺をもっと使えるようにしてほしい。
- 歩いて楽しい仕掛けを作ってもらいたい。

くにびきメッセでの意見

- 堀川遊覧船の船を使って、大橋川の船着場から松江城に入ると楽しいと思う。
- 松江をどうブランドにしていけるか。人を呼び込むための「物語」が必要だ。
- 飲食店の窓から水が見えるのと見えないのでは気分が違う。
- 飲食店から見える景色や雲田気もご馳走だと思ふ。
- 水陸両用バスのようなものも楽しい。
- 行って帰るだけではつまらないので、松江城と大橋川周辺のつながりが必要と思う。
- 観光やレジャーだけでなく水産業からも振興していかなければいけない。

その他

白潟公民館での意見

- 以前は白潟地区に貸しボート屋があった。
- 雨が降って水かさが増えたらタモ(網)を持って魚取りに行った話を聞いたことがある。
- 砂浜をちょっと足で探るとシジミが取れる環境は良かった。
- 昔は網戸を外してシラウオをすくっていた。それぐらいシラウオがいた。
- 水辺にちょっと変化があると子供はそこが遊園地みたいになって遊んでくれる。

くにびきメッセでの意見

- スタンドアップパドルボード等に対して漁師がどのように思っているか聞いてみたい。
- 遊歩道をつくるなら、大手前広場の方が早いし効果がある。
- まちに賑わいをもたらすまちづくりを先に行うべきでは。
- シジミ漁体験や水上市場などがあると良いと思う。